

新和建設 だより ～新和のわ～

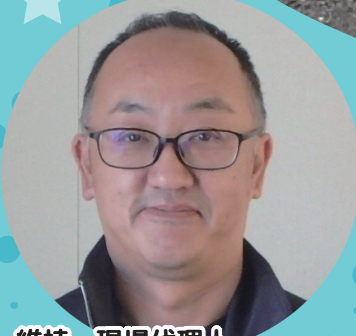
vol. 2

2026年5月25日発行

インフラを守る
維持業務編

潜入!

維持部門の1日



維持 現場代理人
かわ むら みち あき
河村 道明さん

新和建設の最前線で働く社員のリアルな日常に迫るこの企画。
まずは、維持部門で現場代理人を務める河村さんに密着しました。
地域のインフラを守る仕事ぶりを一緒に確認していきましょう!

道路維持業務の概要

季節に応じた作業と広範なエリアの管理

主な業務は、道路の清掃や草刈りなどの維持管理です。冬場には除雪作業が加わります。また、室蘭市は寒さが厳しく、凍結や融雪による道路の損傷が発生しやすいため、穴埋め作業も順次行っています。担当エリアは、国道36号線の白老町から室蘭市までの全線約50kmと広範囲。この区間を、当社の職員6名、直営のアルバイト3名、下請け業者の皆さんを含めた合計18名前後で担当しています。作業内容に応じて班分けを行い、路面清掃車や散水車、冬場であれば除雪トラックや散布車などの重機を使用しながら、安全かつ効率的に業務を進めています。

仕事のやりがい

『いつも通り』の朝を守り抜く達成感

冬場の除雪作業において、朝の通勤ラッシュまでに作業を完了できたときに大きなやりがいを感じます。トラブルもなく、皆さんが何事もなく通勤されている様子を見ると安心します。夜中からの作業となり、雪が落ち着くまで日中も対応が続くこともありますが、トラブルなく無事に終わったときが一番ほっとする瞬間です。

近隣の皆さんのあたたかな声

道路維持業務は生活圏での作業が多いため、地域住民の皆さんと接する機会も。夏場の草刈りなどで「暑いのに大変ですね」と声をかけていただいたり、差し入れをいただいたりすることもあり、大きな励みになっています。

現場代理人のある1日



07:50 朝のミーティング

最も重視している工程!

現場へ向かう当社の作業員に向けて、作業指示や安全事項の確認を実施。1日の仕事の流れをスムーズにすべく、下請け業者の皆さんとは現場ごとに別途ミーティングを行い、情報を共有。「危険箇所の周知」など、命に直結する声かけを徹底し、緊張感を持ってスタートします!



09:00 デスクワーク・打ち合わせ

メールの確認や書類作成などを実施。週の初めには開発部門と週内の作業内容や工程に関する打ち合わせを実施し、事前の情報共有を図ります。



事務仕事中心!



12:00 昼休憩

基本的には1時間の休憩を取りますが、突発的な電話対応が入った場合は、現場第一の精神で、状況に合わせて柔軟に休憩を取ります。



13:00 現場視察・緊急の対応

事務作業の合間を縫って現場へ向かい、指示通りに進んでいるか状況を確認。また、開発部門から事故や落下物などの緊急連絡が入ることも多いため、状況に応じて自ら現場へ赴き、柔軟に対応します。



緊急の連絡に備えています



16:50~17:00 明日の確認及び終業

職員が集まり、明日の打ち合わせや作業指示の最終確認を行います。



00:00 夜間除雪作業 (※冬場降雪時のみ)

降雪状況に応じて当番から連絡を受け、夜間のうちに除雪担当者を招集。事前に現場を見回って作業範囲や経路を確認し、ミーティングで共有。そうして朝の通勤ラッシュまでに完璧な路面状態を作り上げます。

今後の目標

安全第一のインフラ維持と若手メンバーの育成を!

道路維持業務は、1年を通して同じように道を守り続ける仕事です。国道36号線という重要なインフラを守る立場として、日々、作業員全員がけがなく、事故を起こさずに業務をやり切ることが一番の目標です。また、若手への技術継承や育成にも力を入れていきたいと考えています。現場での経験が一番の成長につながるため、重機の運転や下請け業者の皆さんと連携して進める現場作業など、できるだけ早く仕事を覚えてもらえるよう努めます。

入社6年目社員の成長記録!

高校卒業後すぐに新和建設へ入社し、道路維持の最前線で経験を積んできた沼山さん。知識ゼロの状態から現場管理や重機操作の壁をいかに乗り越え、周囲との信頼関係を築いてきたのでしょうか。成長の軌跡を振り返ります。



維持 ぬま やま 沼山 規星さん

1年目に直面した壁

体力的な負担と技術不足

道路の維持管理は、春のゴミ回収、夏の草刈り、排水溝の清掃、冬の除雪が1年のサイクルです。それまで屋外作業の経験がなかったため、特に夏の草刈りは体力的に大変でした。また、冬の除雪では初めてタイヤショベルに乗り、操作技術が伴わず縁石を壊してしまったこともあります。

年上の方とのコミュニケーションの難しさ

18歳だった当時、2回り以上年上の業者の方へうまく依頼ができず、大きな歯がゆさを感じました。指示を出さなくてはいけない立場でありながら、言葉が出ないことに悔しさを覚えました。

壁を乗り越えた工夫とフォロー

毎日の自主練習とコミュニケーション

除雪作業は経験者から助言をもらい、業務終了後に30分ほど機械を動かす練習を重ねて慣れていきました。夏の暑さは空調服や保冷剤を活用して乗り越え、現場管理では、年上の方に敬語を使いつつ共通の趣味などを通じてコミュニケーションを図り、接し方のアドバイスも受けて徐々に良好な関係を築けました。

先輩からの温かいフォロー

現場で厳しい言葉をかけられても、業務終了後には先輩が現場の見方や指示の出し方を丁寧に教えてくれました。そのフォローのおかげで精神的な余裕が生まれました。

広がる裁量と仕事の醍醐味

一人で現場を仕切る手応え

6年目を迎え、一人で現場を任せられるようになりました。特に草刈り作業では、必要な人数や時間を計算し、効率的に進める指示を的確に出せるまでに成長。先輩がいなければ何もできなかった1年目と比べ、自分の判断でコントロールできる範囲が広がり、確かな手応えを感じています。

憧れの重機操作を担当する喜び

仕事の醍醐味は、普段はなかなか触れることのできない特殊な重機に乗れることです。現在は除雪作業でモーターグレーダーを操作しています。本来は土木現場で地盤を平らにする機械ですが、幅広く除雪できるため時間効率の向上に適しているのです。興味があった機械操作を担当できることは大きなやりがいです。

成長の実感と今後の展望

コミュニケーション能力の向上と知識の吸収

最も成長できたのは人間関係を構築する力です。現場で出会う作業員や社長など、豊かな経験を持つ方々と関係を築くことができ、維持業務以外の知識も吸収できました。排水設備の設置作業では、専門知識を持つ方に自らの助言を仰ぎ、未経験の作業ながらも適切に施工を完了。人との関わりが自分の業務を広げる力になっています。今後はさらに機械操作の技術を磨き、先輩方に追いつくことが目標です。

教えて!

入社を決め手

だから私は、新和建設を選んだ

前職での怪我を機に新たな道を模索していた菊池さん。そのような状況のなかで出会った当社には、高校の同級生や尊敬する先輩の師匠にあたる上司とのつながりなど、驚くような縁が待っていました。菊池さんが不安を抱えながらも入社を決めた経緯と、人を惹きつける当社の魅力に迫ります。

応募のきっかけ

怪我を機に新たな道を模索

以前はとび職として働いていましたが、右足の半月板を怪我してしまい、現場での激しい動きが困難になりました。将来を考え、大型免許を活かせるドライバーなどの仕事を探していたところ、当社の求人が目にとまりました。重機を保有し、冬の除雪や路面清掃といった業務があることを知り、「自分でも雇ってもらえるのではないか」という一筋の希望を持って、応募を決意しました。

入社を決め手

社長の熱意と重なる良縁

足の状態に不安を抱えていた私に対し、社長は「もし現場で足がダメなようなら事務所に上がっておいで。君をちゃんと使ってあげるし、途中で見捨てたりしないから大丈夫だ」と、心強い言葉を掛けてくださいました。さらに、現場代理人の河村さんが高校の同級生であったことや、上司の花巻さんが私の尊敬する先輩の師匠だったことなど、驚くような縁が重なりました。「この人たちについていけば間違いない」という確信が、入社への背中を押してくれたのです。

職場の雰囲気

支え合う文化と良いギャップ

入社後は、チームワークの素晴らしさを実感しています。誰かが失敗しても周囲が自然にフォローし合う体制が当たり前のものとして根付いており、未経験の私にも皆さんが丁寧に仕事を教えてくれました。また、幼馴染みの河村さんが現場でプロとして厳格に働く姿には、良い意味でギャップを感じ、刺激を受けています。年齢に関係なく、すぐに和気あいあいと馴染める非常に温かい環境です。



維持 きくち たけし 菊池 武志さん

仕事のやりがい

地域の安全を守る誇り

道路維持の仕事は、夏は草刈り、冬は除雪と、地域のインフラを支える重要な役割を担っています。作業後に道路が綺麗になった際や、除雪された道を車がスムーズに通っていく光景を見ると、地域の街づくりに貢献しているという実感が湧きます。全くの別業界からの挑戦でしたが、一から技術を学び、仲間と共に社会の役に立てることは素直に面白いと感じますし、何より地域に貢献できている手応えが、日々のやりがいです。